

REPORT② 役場新庁舎の建設 順調に進行中

令和3年5月に着手した役場新庁舎の建設工事は、大地震発生時に庁舎の安全の要となる「免震装置」の設置が完了するなど、順調に進行しています。

令和3年7月末で5%(令和3年9月号参照)

だった工事進行率は、令和4年 2月末時点で32.1%となってい ます。

今後、躯体工事、外構工事と 作業を行い、令和4年度中の完 成、令和5年度供用開始に向け、 工事を進めていきます。



令和4年2月末 時点の工事進行率



2月末の工事進行状況(南側からドローンで撮影)



建物の地震対策

建物の地震対策には、「耐震」・「制振」・「免震」があります。

耐震構造…建物の構造自体の強度を高めることで地震の揺れに耐える構造です。 揺れが建物に直接伝わるので、上 層階ほど揺れが大きくなり、室内 の器具などにも影響があります。

制振構造…耐震構造に加えて組み込んだ制振 装置が地震の揺れを吸収し、建物 の揺れを抑える構造です。

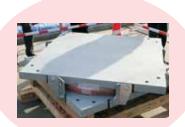
免震構造…建物と地盤の間に「免震装置」を設置し、地震の揺れを免震装置で吸収。建物に揺れを伝えない構造です。地震後にも建物機能が維持でき、事業が継続できることが大きなメリットです。役場新庁舎には、この免震構造を採用しています。



55個の「免震支承」と8個の「免震ダンパー」で構成される免震装置。 免震ダンパーが地震の揺れを減衰させます。



免震支承は、上下の 鉄板の間にスライドす る部品が組み込まれて おり、おのおのが別々 に動くことにより地震 の揺れを吸収します。



	令和4年度												令和5年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
建築/電気設備/ 機械設備工事		工期:令和5年3月10日まで													
開庁準備 (機器搬入、落成式など)															
供用開始															

問 新庁舎等建設課 ☎ 286 - 3312